

会 議 録

会議名	平成28年度 第1回印西市子ども・子育て会議	
開催日時	平成28年9月27日(火) 午後2時00分から午後3時27分まで	
開催場所	印西市役所4階41会議室	
出席委員	西村 信会長、貝塚 有紀恵委員、横山 賢一委員、古賀 一人委員、岩井 基委員、小谷 博子委員、石井 秀昭委員、塚田 昌幸委員、片岡 一郎委員	計9名
欠席委員	梅元 妙子委員、前田 陽子委員 計2名	
出席職員等	[事務局] 保育課 田口 光浩、堀越 庄一、泉田 隆之、小森谷 幸一 [関係課] 子育て支援課 鈴木 悦子、田久保 正樹 学務課 坂木 武伸、岡本 光世	
傍聴者	3名	
会議次第 議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 協 議 等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成29年度保育園入園申込みについて 【資料1】 (2) 市内認定こども園・保育園の利用定員について 【資料2】 (3) そ の 他 4. そ の 他 5. 閉 会 	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 第1回印西市子ども・子育て会議 会議次第 ・【資料1】平成29年度保育園入園申込みについて(改善点(案)) ・【資料2】市内認定こども園・保育園の利用定員について 	

会議概要・審議経過

1 開 会

新規委嘱委員の紹介：第2号委員 横山 賢一 第4号委員 石井 秀昭

2 会長あいさつ

西村会長からのあいさつ

3 協議等

(1) 平成29年度保育園入園申込みについて

○事務局より説明

- ・保育園入園の取り扱いについて説明

○質疑

【小谷委員】 今回点数の加点ということだが、もともと基本の点数は幾つなのか。また、現在、0歳児が何点で入園できるか。

【事務局】 基本点は、両方フルタイムで働いている場合、11点ずつの22点で、ここに調整点を追加していく。現在の0歳児は、空いているところに一番上の点数の者が入園している状況であり、例年の傾向だと4月～6月は何とか入れているが、7月以降年度が進むにつれて厳しくなる。

【小谷委員】 転園はどうか。

【事務局】 通常の入園と同様に審査している。兄弟が既に在園しており、その園を希望している場合には加点がつく。

【小谷委員】 基準表は保護者に見せているのか。

【事務局】 入園案内と一緒に入れている。

【小谷委員】 祖父母が近くにいる場合についてはどうか。

【事務局】 65歳以下が同居して特に就労などしていない場合、減点となる。

【小谷委員】 改善することによって、保育士が足りているのか。

【事務局】 実際、子どもが保育園に入れず復職できなかった事例があり、加点することにより改善ができると考えている。

【小谷委員】 小学校の先生は復帰できないケースはあるか。

【石井委員】 数年のところでは無いと思う。

【事務局】 保育士の加点については、国からも要望がきているところである。

【片岡委員】 調整点数に、国や県で基準はあるのか。

【事務局】 国や県で基準はなく、各自治体に委ねられている。

【片岡委員】 どの市町村でも保育士不足は逼迫している。保育士の加点を3点ではなく6点にしてもいいのではないか。

【事務局】 その点については、他の自治体の状況を確認し検討する。

【小谷委員】 保育士不足については、都内でも深刻で時給を上げたりして対応しており、印西市では、保育士の給料体系が低くこのままではやっていけなくなると思う。保育士を地元で育てていくことが大事だと思う。足立区では大学を卒業し、足立区で就職をすると色々補助サポートがあると聞いている。そこまでしないとなかなか保育士を確保することは厳しいのではないか。

【事務局】 確かに、今年度の保育士採用の募集状況についても、7人位と聞いている。市内の民間保育園での合同採用説明には十数人と聞いており、なかなか、来年度から補助を出すとは言えないが何らかの対応が必要と考えている。

○協議結果

一同了承

(2) 市内認定こども園・保育園の利用定員について

○事務局より説明

・新規こども園の定員及び認可保育園定員変更について説明

【小谷委員】 こども園が増えるとのことだが、定員割れしている幼稚園に影響は無いか。

【古賀委員】 現状市内に幼稚園は6園あり、各地区に分散しており、競争は集中していない。幼稚園を希望する保護者は、園の教育理念を重視し選んでいる。幼稚園ではバスを出したりもしている。もしかすると、近い園は影響があるかもしれない。保育園の定員はいいと思うが幼稚園の定員はシビアに見た方がいいのではないか。あまり高く見るとマイナス面も出てくるのではないかと思う。

【事務局】 民設民営での実施において、法人からこれでやりたいと聞いている。市としても大きく受け皿をとりたいと思っている。法人の方にもこのことはお話をする。

【小谷委員】 RWI（レインボーウイングスインターナショナル）は0～2歳が分園、3～5歳が本園ということで、距離があり遠くなるが送迎はどうか。

【事務局】 送迎バスを出すと聞いている。分園で預かり本園に送ると聞いている。

【小谷委員】 幼稚園は2時、保育園は5時以降になるがまた戻すのか。

【事務局】 恐らくそうなると思う。

【片岡委員】 ひかりこども園だが、3園統合するとのことだが在園児はどうなるのか。

【事務局】 保護者の希望があれば優先的に入園となる。

【片岡委員】 保育士は新しい人に代わるのか。

【事務局】 民設民営なので基本的に正職員は代わることになるが、任期付、非常勤職員については何名か新しいこども園に行く予定となっている。

【片岡委員】 新たに変わると保護者からのトラブルとかがあがあるが、市の職員が出向する等の対応を考えたか。

【事務局】 現状では考えていない。

【小谷委員】 こども園の場合、子どもの選定について認可保育園と違うのか。

【事務局】 保育園部分については、市で行う利用調整会議にかけ、幼稚園部分については法人で決めることになる。

【片岡委員】 こども園は直接契約ではなかったか。

【事務局】 利用調整は行って、その後園と保護者で契約を行う。

【小谷委員】 保育士の確保は大丈夫か。人員確保が出来ず定員確保が出来ない場合がある。市が関わっていないと難しいのではないか。

【事務局】 人員確保について、ひかりこども園については、鎌ヶ谷市で、保育園、幼稚園を運営しており、現在、人員確保に努めているところと聞いている。

○協議結果

一同了承

(3) その他 特になし

4 その他

○事務局より連絡事項等

- ・次回会議について（学務課：公立幼稚園の今後のあり方について）
- ・委員報酬について説明。

5 閉会

平成28年度第1回子ども・子育て会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

平成28年10月27日

子ども・子育て会議委員

横山 賢一

子ども・子育て会議委員

古賀 一人